

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

547

農業団体等育成指導事務

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	5	農業振興のためのネットワーク強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農政費		
	大事業	農政事務事業		
	中事業	農業団体等育成指導事務		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	農林水産課	佐々木 茂彰 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	農業関係団体の育成を図り、各団体の自主的な農業振興への取組を促進する。		地産地消、食農教育等を積極的に取り組む団体に助成を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		青年農業者交流、地元産品を使った料理教室などの活動を行う団体を支援する。@(和海地方総合農政推進協議会負担金、農村青年交流促進事業負担金、ジャンボタニシ防除対策協議会活動費補助金、JAわかやま女性会補助金、和歌山市生活研究グループ連絡協議会補助金)	青年農業者交流、地元産品を使った料理教室などの活動を行う団体を支援する。	各団体が取り組む料理教室や研修会などの活動費を補助する。	各団体が取り組む料理教室や研修会などの活動費を補助する。	各団体が取り組む料理教室や研修会などの活動費を補助する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	208	208	208	188	188	161	188	0	188	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	△9.6%	△9.6%	△14.4%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,339	5,803	3,350	3,749	3,757	1,439	1,759	0	1,759
	正規職員以外	161	0	150	200	199	0	0	0	0
	小計	3,500	5,803	3,500	3,949	3,956	1,439	1,759	0	1,759
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	208	208	208	188	188	161	188	0	188	0
所要人数(人)	正規職員	0.42	0.73	0.42	0.47	0.47	0.18	0.22	0.00	0.22
	正規職員以外	0.06	0.00	0.06	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	和歌山市生活研究グループ連絡協議会への補助金 43千円、JAわかやま女性会18千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助事業者数		件	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
会議その他の実施回数		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	6	7	7		
			達成度(%)	200%	233.3%	233.3%	0%	%
料理教室の実施回数		回	目標値	1	1	3	3	3
			実績値	1	1	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各団体の活動を支援することにより、農業の振興に寄与できると考えている。
見直し・改善内容	一部、活動の縮小に伴い、コストの削減を行う。